

三重県立熊野古道センター事業計画書の要旨

申請者名	NPO 法人 ECCOM
管理運営方針	行政の代行という立場を自覚し、設置目的を踏まえ「人と情報のセンターとなる施設」をキーワードに掲げ、管理運営に取り組みます。熊野古道センターの設置目的・役割を理解し、誰もが安全・安心・快適に利用出来ること、平等で公平な管理運営、施設を拠点とした地域づくりに取り組みます。
運營業務に関する計画	さまざまな場面において、計画的に多言語化に取り組みます。情報発信に積極的に取り組み、ウェブやニュースレター、パンフレット、チラシ、メルマガ等を活用し施設や熊野古道の魅力を紹介します。交流会や体験学習会等は、これまでの施設運営で蓄積したノウハウを活かし、今あるイベントはさらに昇華させつつ、利用者ニーズに合わせたものを随時考案します。資料の収集に関しても引き続き取り組みます。企画展示においては、連動する形で講演会やイベントを開催します。窓口においては、ワンストップサービスができるよう取り組み、利用者にとってストレスのない窓口業務に当たります。他施設、他団体とも積極的に連携し業務に当たります。
管理業務に関する計画	熊野古道に関する紹介と、活動・交流の場を提供する機能を十分に発揮させるため、誰もが安全・安心・快適に利用できる空間であることを最優先に考え、管理水準を満たし、常に良好な状態に保てるよう維持管理に努めます。限られた予算の中で運営する必要があることから、さまざまな業務に優先順位をつけて取り組み、PCDA マネジメントサイクルに基づいた運営により、常により良い環境を提供し、利用促進につながるよう取り組みます。
人員配置・組織等に関する事項	高いモチベーションを持ち業務に当たれるよう、効率的・効果的な運営体制をとります。総括責任者としてセンター長を配置、副センター長として企画・広報担当及び施設管理担当を配置します。この下にコーディネータ等を配置業務に当たります。事務局は、事務全般をフォローするとともに必要に応じて人員を配置し、ムリ・ムダのない最適なシフト体制をとります。

管理運営上必要とする事項		<p>個人情報保護方針、個人情報保護規定、危機管理マニュアル、緊急時連絡体制、コンプライアンス方針及び行動規範等を定め運営に当たるほか、みえ県民力ビジョン第二次行動計画に示されている基本理念を念頭におき業務に取り組みます。</p> <p>また、利用者の意見・要望の把握をとおして、利用者満足度の向上につなげます。</p>						
成果目標		<p>施設稼働率 50%/来場者数 115,000 人/地域の歴史・文化に関する情報収集及び集積の成果発信のうち東紀州地域内での開催 10 回、東紀州地域外での開催 2 回、県外での開催 1 回/国内外の世界遺産登録地等との連携事業 2 回/学校連携事業 25 校/利用者の満足度 95%。これらを達成するため、施設で自己完結しようとせず、各所へ働きかけ協力を得られるように取り組みます。</p>						
収支計画の積算の考え方		<p>施設の価値を最大限発揮するため、指定管理料は毎年上限の額としました。施設利用料金収入及び事業収入は、利用者数を見こし増加するものと想定し算出しました。</p> <p>限られた予算の中で最大限の効果が発揮できるよう、ムリ・ムラ・ムダを気にかけて、経費の効率化を図ります。</p>						
その他		<p>利用者サービスの向上を図るためウェブなどを通じた情報発信をより一層充実させます。また、予算を 5 年の期間で考えることで年度ととらわれない予算執行に着手することで、より効率的な運営に取り組みます。</p>						
収支計画書(千円)	年度	令和 2 年 度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	備考	
	収入合計	71,226	71,576	71,926	72,296	72,696		
	内訳	指定管理料	68,996	68,996	68,996	68,996	68,996	
		施設利用 料金収入	350	380	410	450	500	
		事業収入	1,880	2,200	2,520	2,850	3,200	
支出合計	71,226	71,576	71,926	72,296	72,696			

※ A4版 2枚以内としてください。